

(決議案第1号)

丸山穂高衆議院議員の言動に対する厳重抗議と一刻も
早い北方領土問題の平和的解決を求める決議

令和元年第1回目となる北方四島交流訪問（ビザなし訪問）に参加した丸山穂高衆議院議員が、国後島において元島民である訪問団の団長に対して「戦争でこの島を取り返すのは賛成か」などといった質問を繰り返し行った。旧ソ連軍の侵攻によって強制的に島を追われ、想像を絶する過酷な経験をしてきた元島民の方々に対して、あまりにも思慮のない言動であり、両国の友好・信頼関係に影響を及ぼしかねない事案である。

これまで信頼関係の醸成に努めてきた元島民や多くの道民・市民にとって到底受け入れがたく、強い憤りを禁じ得ないものである。

衆議院の沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員でもある国会議員が、過去の戦争を教訓として恒久平和を誓った憲法の平和主義に反する発言を行ったことは、断じて許すわけにはいかない。

また、国を代表して参加する国会議員については、今後は厳正な人選とともに、責任ある行動をとるよう、国として十分な対策を行うよう要望する。

日露両国の友好交流を一層推進し、お互いの信頼関係を深めることを通じて、北方領土問題が平和的に解決されることこそ、元島民を初めとする道民・市民の願いであり、国においては、こうした思いを念頭に一日も早い北方領土の返還と、平和条約の締結に向けた外交交渉を推し進めていくことを強く求める。

以上、決議する。

令和元年6月28日

釧路市議会